

第2回 大野市地域安全克雪方針策定協議会 議事概要

日時：令和4年7月14日（木）午前10時30分～11時30分

場所：結とびあ302号室

1 あいさつ

竹田会長あいさつ

2 報告事項

令和4年度住宅等敷地内における除排雪対策に関する

区長アンケート調査結果

区長アンケート調査結果について事務局より説明。

3 協議事項

安全克雪事業 新規試行取組について

新規試行取組について事務局より説明。

【委員からの意見】

- ・現在ある安全克雪事業の取組とは別に予算化するのか。
⇒新規の取組として実施していきたいと考えています。
- ・令和4年度に取り組んでいくのか。
⇒除雪資機材の補助については、まだ予算化はしていませんが、実施していきたい。

4 その他

【委員意見】

- ・手押し式除雪機械購入補助について聞いた話だと、半導体が不足している関係で、除雪機が調達できない、今年の冬に間に合わない問題がある。除雪機の購入支援をして、調達が間に合うかどうか心配している
- ・市の支援は補助率、限度額を決めた支援となるのか。
⇒補助率や上限額を決めて支援していくことを考えている
- ・スノースコップやはしごは、地区に一度補助しているのでは。
⇒自主防災組織の活動事業の中で、災害対応として購入したのではないかと
思う。今回は、資機材を購入するのに特化した形での助成を考えている。
- ・除雪機が不足しているのではないかというお話ですが、大野市から歩道除雪をする業者に要請し、地域内で区長に頼まれた民地だけを除排雪してもらってはどうか。

- 保険についても今のうちから何かしておいた方が良いのではないか。なるべく早く考えていただくよう、お願いしたい。
- 建設業では高所作業時の保険があると思います。その分野の保険が上手く応用できれば、良いと思う。
- 逆の発想で、除排雪が高所作業にならない仕組みを考えていくことも大切だと思う。高齢化率はこれから進展していき、今ぎりぎりのラインであったとしても、それを超えたときに一気にマンパワーが落ちることも考えられる。中長期的な取組についても、同時並行で検討していくことがかなり大事だと思う。新しい技術も取り入れながら、試行取組も進めていく必要があると思う。
- 雪に特化した地域共済はないのか。
⇒いろいろ確認しているが、事例はないとのこと